

【インサイト調査】 スマホで心臓リスク確認、約87%が「定期検査の必要性を実感」ココロミルが熊本県「UXプロジェクト」での実証結果を発表

株式会社ココロミル 配信時間未定



熊本県が推進する地域課題解決型プログラム「UXプロジェクト」において、医療テックベンチャーの株式会社ココロミルは、スマートフォン起点のスクリーニングから在宅型心電図検査へつなぐ「予防医療モデル」の実証実験を実施。そのアンケート結果を公表しました。

本実証実験では、プロトタイプアプリ「心スキャン」を用いた日常的なセルフチェックと、高精度な在宅型長時間心電図検査「ホーム心臓ドックpro」を組み合わせ、「スマホから精密検査までをひと繋ぎにした仕組み」の検証が行われました。

■ 主な実証結果（参加者アンケート：30名）

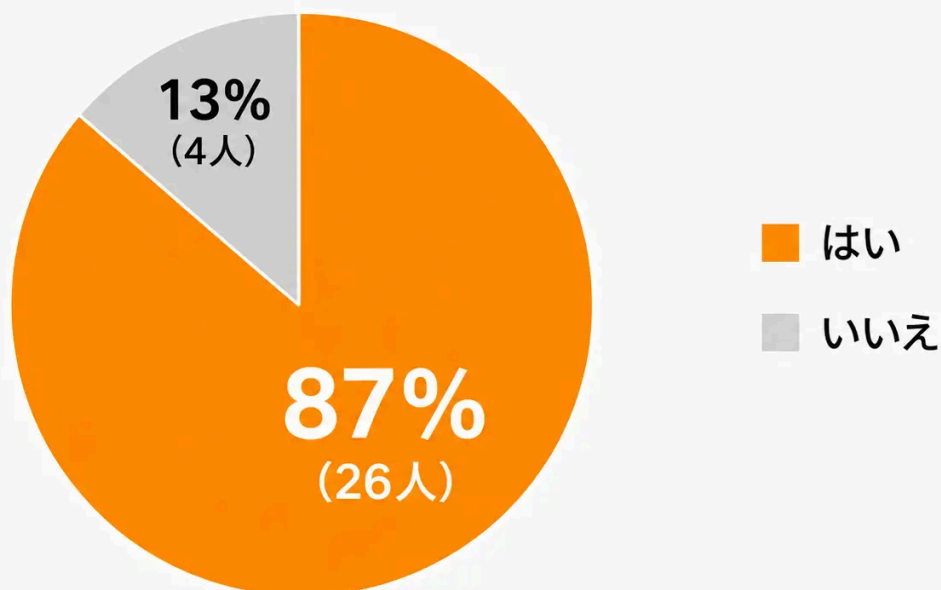
- ・ **意識変容**：86.7%が「定期検査の必要性」および「心疾患予防への関心」を実感したと回答しました。
- ・ **継続性**：70.0%が「アプリであれば毎日チェックすることが苦ではない」と回答しました。
- ・ **医療連携**：精密検査が必要と判断された参加者のうち、66.7%がその後の精密検査（ホーム心臓ドックpro）を希望しました。

今回の実証により、スマホを入り口に「日常のチェックから在宅精密検査、病院の受診まで」をスムーズにつなぐ予防医療モデルの実現へ向けて、大きく前進しました。

課題に対する成果（アンケート結果抽出）

1. 86.7%が「定期検査の必要性」を実感

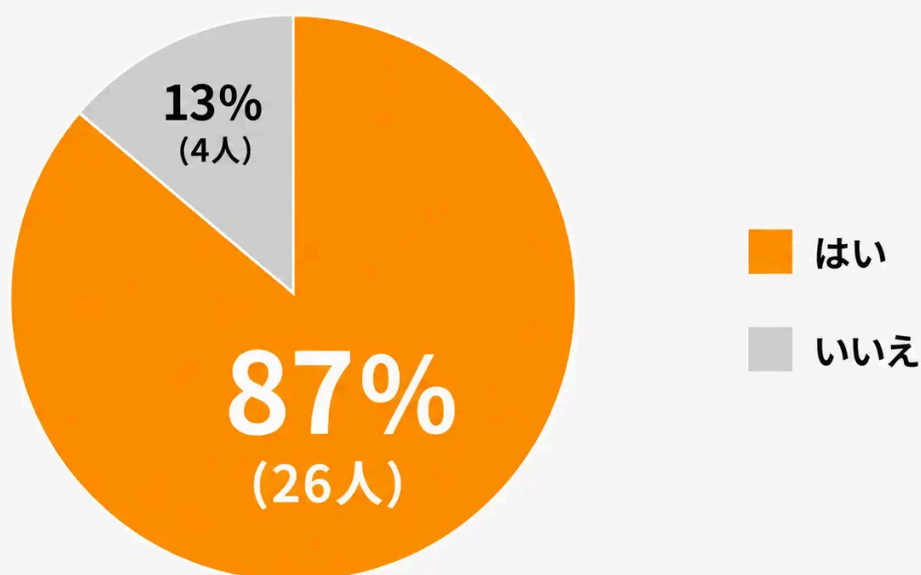
「心音アプリを活用して、定期的に検査を受ける必要性を感じましたか？」



「心スキャン」を通じて自身の心臓の音や脈を可視化したことで、参加者30名中26名、86.7%が「定期的に検査を受ける必要性を感じた」と回答しました。

2. 86.7%が「心疾患予防に関心が湧いた」と回答

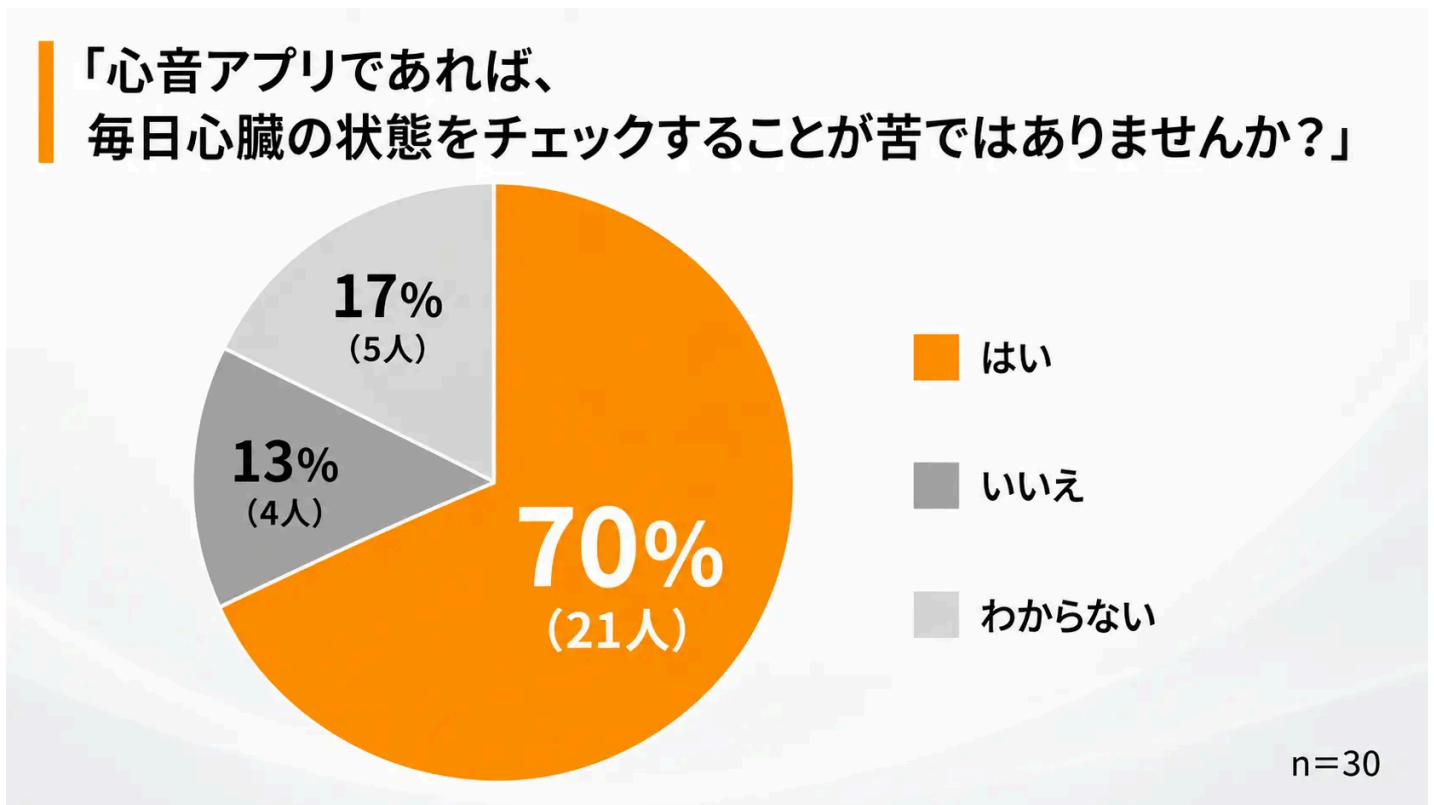
「心音アプリ」をとおして、心疾患の予防に関心が湧きましたか？」



また、同じく30名中26名、86.7%が「心疾患の予防に関心が湧いた」と回答しました。

自覚症状がない人や、健康診断では「自分は大丈夫」と思いやすい人に対しても、スマートフォンによる手軽な測定が、自分の体に関心を持つきっかけとして機能する可能性が示されました。

3. 70.0%が「毎日チェックできる」と回答



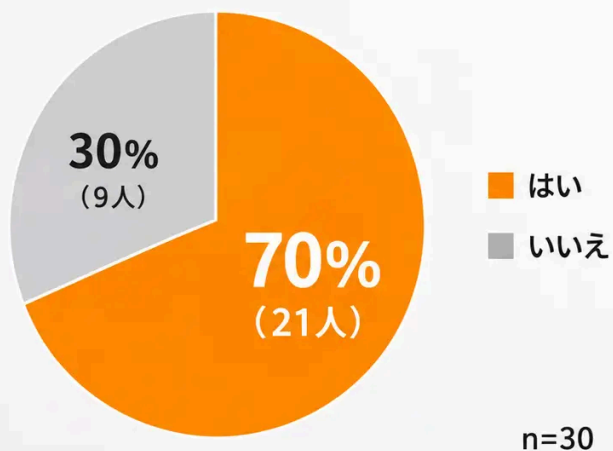
「アプリであれば、毎日心臓の状態をチェックすることが苦ではないか」という問いに対し、参加者30名中21名、70.0%が「苦ではない」と回答しました。

健康管理は継続が難しい一方で、スマートフォンという日常的なデバイスを活用することで、日常使いのハードルを越える「70%」の継続受容性を確認。

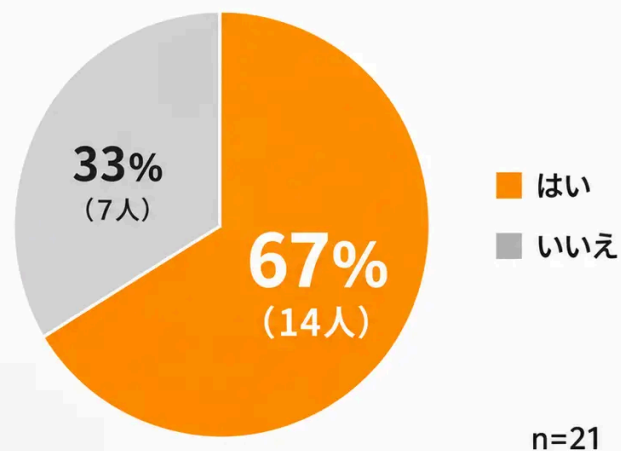
健康管理が三日坊主になりがちな層でも、日常の生活動線に無理なく組み込めることが証明されました。

4. 70%がB・C判定、スマホスクリーニングにより66.7%が精密検査を希望

『心音アプリ』でB・C判定が
出ましたか？



『心音アプリ』でB・C判定が出た人へ
精密検査（ホーム心臓ドックpro）は
お申込みされますか？



日常的な利用を想定としたスマホアプリでのスクリーニングで、より高精度な検査が必要と判断された「B又はC判定」の参加者は30名中21名、70.0%でした。

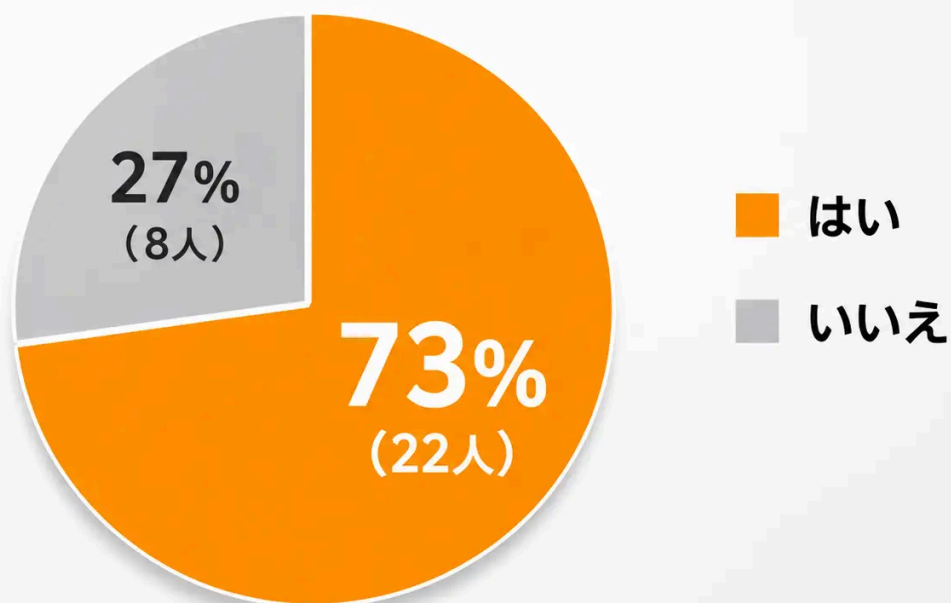
そのうち、在宅型長時間心電図検査「ホーム心臓ドックpro」への申し込みを希望し、精密検査に進んだ人は21名中14名、66.7%でした。

この結果は、スマホアプリによる“まず測る”体験が、必要な人をより精密な検査へつなげる導線として機能する可能性を示しています。

5. 73.3%が「家族や大切な人にも受けてほしい」と回答

ご家族や大切な方に

『心音アプリ検査を受けてほしいと思われましたか?』



n=30

「ご家族や大切な方に心音アプリ検査を受けてほしいと思われましたか」という問いに対し、参加者30名中22名、73.3%が「受けてほしい」と回答しました。

<その他ご意見や感想など>

- ・いいアプリだと思います。
- ・スマホで検査ができるということが驚きです。手軽にできるところがいいですね。
- ・初めてでしたが、わかりやすく出来ました。
- ・自分の体に興味を持つきっかけになったと思います。
- ・当初は半信半疑の計測でしたが、デリケートな検査を手軽に自分のスマホで出来ることは、今後のニーズは望める分野だと思います。

今後の展開・課題解決の兆し

今回の実証実験により、誰もが持つスマートフォンを「予防医療の入り口」とすることで、ハードルを極限まで下げつつ、リスクのある対象者を確実に高精度検査（ホーム心臓ドックpro）へと導けることが証明されました。この「スマホ起点でまず測り、必要に応じて精密検査へ進む」という一気通貫のケアパスウェイは、将来の医療・介護費増大を防ぐ画期的な仕組みとなる強い兆しです。

一方で、日常的なアプリ利用におけるリアルな課題（UXの改善点）も浮き彫りになりました。アンケートの自由回答では、「冬場は洋服を脱ぐのが寒くて苦になる」「生活音や雑音を拾ってエラーになる」「操作ボタンの位置が押しにくい」といった、環境や使い勝手に関する声が寄せられました。

また、今後同様の検査を受ける際に重視する点として（複数回答可）、30名中25名が挙げた「検査の精度」に次いで、30名中24名が「検査にかかる費用」を重視すると回答しました（「検査の簡易性」は14名）。

高品質な予防医療を広く一般に届けるためには、操作性や精度の向上といったプロダクトの磨き込みに加え、全額自己負担に頼らない補助モデルの構築など、利用者の金銭的ハードルを下げる仕組みづくりが不可欠であることが判明しました。

今後は、本実証で得られた「行動変容につながるエビデンス」と「市民のリアルな声（課題）」を活かし、プロダクトのさらなる改良を進めるとともに、令和7年度も連続採択された本プロジェクトをさらに前進させます。行政の補助モデルや企業の健康経営との連携を強化し、市民が自発的に心臓リスクに気づき、重症化する前に医療に繋がる「熊本発・予防医療の社会実装モデル」として、さらなる展開を目指してまいります。

調査概要

事業・プロジェクト名：UXプロジェクト 健康寿命延伸プロジェクト

実施地域：熊本県

実施企業：株式会社ココロミル

使用サービス：心スキャン、ホーム心臓ドックpro

実施内容：スマートフォン等を用いた心音・脈の測定、心疾患リスクのスクリーニング、在宅型長時間心電図検査への接続

アンケート対象：実証参加者

回答者数：30名

※本調査は実証参加者へのアンケート結果であり、回答者数は30名です。結果は参加者の傾向を示すものであり、熊本県民全体を代表するものではありません。

心スキャンについて

世界初！ スマートフォンだけで心臓リスクを検知 心スキャン

*特許申請中、商標登録申請済

心スキャンは、スマートフォンだけで誰でも簡単に心音を計測し、不整脈や心臓病のリスクを検知が可能です。スマートフォンだけで心音を解析して病気を検知できるアプリは世界で初めてとなります。世界最大の死因は心疾患であり、心疾患を検知できるアプリは海外でも求められています。心音アプリは今後、海外でのニーズに応えるため海外市場へも参入する予定です。

2種類の
心臓病を検知

心房細動などの
不整脈

心不全



 kokoromil

「心スキャン」は、スマートフォン等を活用して心臓の音や脈を計測し、心臓リスクへの気づきを促すプロトタイプアプリです。

日常生活の中で手軽に心臓の状態を確認できることで、従来の健診だけでは見えにくいリスクへの関心を高め、必要に応じてより精密な検査や医療機関受診へつなげることを目指しています。

「ホーム心臓ドックpro」について

10種類もの不整脈を 寝ている間に早期発見！

- 1 期外収縮
- 2 発作性上室頻拍
- 3 心房粗動
- 4 心房細動
- 5 心室頻拍
- 6 心室細動
- 7 洞停止
- 8 脚ブロック
- 9 房室ブロック
- 10 補充調律

自宅で行える心電図検査で
突然死や健康のリスクを見つけます

ホーム心臓ドックpro ホーム心臓ドック®



睡眠時無呼吸症候群・睡眠の質 ストレス も

一度の検査で同時にチェック！



胸に小型の心電計を貼り付け、心電図データを9時間以上取得。結果を臨床検査技師が解析しレポートにしてお渡しします。長時間の心電図計測により、従来の健康診断や人間ドックにおける15秒ほどの検査では見つからない、隠れた心疾患リスクを発見することができます。

さらに睡眠時無呼吸症候群(SAS)・睡眠の質、ストレスの兆候まで一度に検出します。オンラインクリニックも完備しており、希望があれば自宅から医師の診察を受けたり、大学病院の紹介状も書いてもらうこともできます。

ホーム心臓ドックproは医療機器を使用していながら、自宅で検査ができるため、通院の手間なしに手軽に医療と同水準の検査を受けることができます。忙しく過ごす中高年の方はもちろん、病院へのアクセスが困難な地域の方やご高齢の方にご好評いただいております。

■ホーム心臓ドックpro(販売ページ)

<https://homeheart.health/products/homeheart-pro01>



株式会社ココロミル

— 「病気で後悔しない社会へ」をミッションに世界から突然死をなくす—

私たちは、自宅にいながら医療機関と同等の本格的な心電図チェックが手軽にできる「ホーム心臓ドック®」をはじめとする各種事業を展開しています。

長時間のデータ取得により、これまでの健診や人間ドックでは見逃されがちだった心疾患リスクも早期に“見える化”し、突然死などで「今まで救えなかった世界で1億人の命を救う」ことを実現します。

また、取得したデータを通じて、多くの方々が自分自身や家族の健康状態を可視化し、健康寿命やQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を向上させることを目指しています。

代表取締役社長：林 大貴

所在地：〒160-0023 東京都新宿区西新宿6丁目2番16号 菅野ビル2F

設立：2021年11月

事業内容：ヘルスケア及び臨床研究事業

提供サービス：〈個人向け〉不整脈、睡眠時無呼吸症候群 (SAS)、睡眠の質、
ストレスの兆候を心電計を使って可視化する「ホーム心臓ドック®」
〈医療機関向け〉使い切りホルター心電計「eclat」
〈医療機関向け〉動物医療心電図モニタリング、ホルター検査

製品名 : eclat (エクラ)

一般的名称 : 長時間心電用データレコーダ

医療機器クラス分類 : 管理医療機器 (クラスⅡ) 、 特定保守管理医療機器

主要許認可・認証等 :

第二種医療機器製造販売業 (許可番号 : 13B2X10584)

医療機器製造業 (登録番号 : 13BZ201797)

高度管理医療機器販売業・貸与業 (許可番号 : 5新保衛薬第162号)

ISO 13485:2016 認証取得

HP : <https://kokoromil.com/>